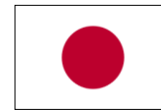


学校名	平商業高等学校	校長	松田 泰夫
住所	福島県いわき市平中塩字一水口37-1		
電話	0246-23-2628	ホームページアドレス	http://www.taira-ch.fks.ed.jp/



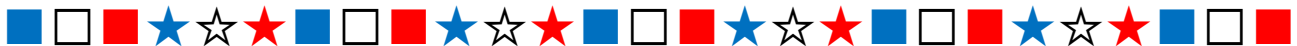
フランス大使館訪問



概要

今年5月12日本校にて、駐日フランス大使館参事官クリストフ・グゼリ氏を講師として『EUがあなたの学校にやってくる』という出張授業が行われました。そのご縁で本校生が駐日フランス大使館からご招待いただき、訪問してきました。

- 訪問日 平成26年 7月4日(金)
- 訪問場所 駐日フランス大使館(東京都港区南麻布)
- 訪問者 生徒会役員10名 引率教員2名
- 内 容 大使館・大使公邸案内、交流会



内容

○大使館案内

当日はあいにく小雨、大使館ゲートは警戒が厳重で、身分証明書を提示し、持ち物は飛行場にある金属探知機を通しての入場でした。中に入ると、先日の出張授業で通訳をしてくださった三又啓子さんとグゼリさんの娘レティシアさんが出迎えてくれました。東京都港区南麻布にある大使館の敷地は、尾張徳川家のお屋敷跡で面積は約2.5ヘクタールあるそうです。昔の庭園がそのまま残っており、東京にいるとは思えない景色でした。



○大使公邸見学と交流会

1階は来客用のラウンジやダイニング、2階が大使の住まいになっています。庭園は芝生が絨毯のように敷き詰められており、下にはプールがありました。

グゼリさんが加わり、フランス留学(CAMPUS FRANCE)の説明、その後質疑応答が行われました。レティシアさんは同世代ということもあり、とても親しみやすく、ちょっとした疑問でも気軽に聞くことができました。

お腹が空いたところで、buffetスタイルの軽食を出していただきました。映画に出てくるような素敵な場所で、メゾン・カイザーのパン、本場のチーズやハムなど美味しいものばかり、最後にエクレアを頂きました。(チーズはくせがきついものもあり好みが分かれました。フランスではにおいが強いほうが好まれるそうで…) 記念撮影後、大使館に別れを告げました。



生徒の感想

「学校代表として(もうこれからの人生で訪れることのないような場所の)フランス大使館を訪れるということで大変緊張したが、あたたかい歓迎を受け嬉しかった。」「学校の授業では学べないフランスの昔の話や、報道されていない今の話を聞いて勉強になった。」「今回の体験を通して、フランスを身近に感じる事ができた。フランスパンのみみがおいしいと言ったら、『そう思う人は本物のフランス人だよ!』と言われたことが嬉しかった。」「特に印象深かったのは、フランスではGDPの7%を教育にかけているということ。将来への投資、平等の考え方がそうさせていることに驚いた。」「他国と日本を比較できる貴重な機会だった。視野が日本から世界に広がった。」「今度は実際にフランスへ行ってみたいと思った。」

